

新型コロナウイルス感染症の施設内クラスター終息に伴うお知らせ

投稿日：令和3年10月15日

当法人施設「門司障害者地域活動センター入所」にて、令和3年9月上旬より、「新型コロナウイルス感染症」発生に伴い、面会や短期入所等を中止し、当該施設のご利用者様とご家族、後見人様、地域の皆様方等に多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと深くお詫び申し上げます。

この間、北九州市担当部局、保健所、感染症専門医等のご指導助言を仰ぎながら、施設内における感染者の早期発見、他の専門病院への転院、当該施設のゾーニング及び施設内感染の防止強化に努めてまいりました。

その結果、令和3年9月28日最後の陽性反応者が解除になりました。ご利用者及び職員含め、その後新たな感染者は確認されておりません。新たな感染の危機に備えた施設内での感染対策も整備し、北九州市保健所との協議の上、令和3年10月13日をもって当施設の「新型コロナウイルス感染症」は終息したものと判断されたことをご報告いたします。

今後とも、感染防止対策を強化し、再発防止に職員全員一丸となって取り組んでまいります。何卒、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

社会福祉法人あすなろ学園

理事長 大友征子